

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育課程論	講義	2	園田 雪恵
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b>			
<p>「全体的な計画」とは何かについて考え、その意義について理解する。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から、カリキュラムの内容や編成方法及び手順について学び、カリキュラム・マネジメントの意義について理解する。保育者としての資質向上の手がかりとして、PDCA サイクルについて理解し、実践にいかすことができる。</p>			
<b>【授業の概要】</b>			
<p>保育所、幼稚園、認定こども園の「全体的な計画」について学ぶ。平成 30 年度に実施される新たな保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から、各カリキュラムの構造を理解し、カリキュラム・マネジメントについて学ぶ。</p>			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. 幼児教育・保育の基本			
2. 教育・保育を計画するとは(「全体的な計画」について)			
3. カリキュラムの基本的な考え方			
4. 保育カリキュラムの歴史の変遷			
5. 保育カリキュラムの現状と課題			
6. 幼稚園における「全体的な計画」の編成			
7. 保育所における「全体的な計画」の編成			
8. 認定こども園における「全体的な計画」の編成			
9. 指導計画の作成と展開(長期指導計画と短期指導計画)			
10. 0、1、2歳児の指導計画			
11. 3、4、5歳児の指導計画			
12. 保育における食育計画及び保健計画			
13. 小学校との連携と指導計画—幼児教育と小学校教育のつながり—			
14. 教育・保育の計画、実践及び評価—幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿から—			
15. 試験およびまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
<p>予習のあり方: ニュースや新聞などの子どもに関する記事に関心を示し、幅広く情報を得ておくこと。</p>			
<p>学習のあり方: 保育における「全体的な計画」について理解し、指導計画が立案できるようにする。</p>			
<p>復習のあり方: 授業内容についての疑問点を整理し、必ずその時に解決する習慣をつける。</p>			
<b>【成績評価】</b>			
<p>平常試験(50%)、ワークおよび提出物(50%)により総合的に判断する。</p>			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
<p>授業で配布するコメントシートに授業に対する疑問点や質問を記入し、次回の授業にて解説することによりフィードバックを行う。</p>			
<b>【テキスト】</b> 「保育カリキュラムの基礎理論～教育・保育課程の学び～」(2018 年 3 月出版予定) あいり出版			
編者: 戸江 茂博			
<b>【参考文献】</b> 厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館			
内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館			